

# 令和7年度租税教室の開催

## (テキスト変更に取り組んで…)

租税教育推進部長 吉野和世

### 【テキスト変更と講師養成研修】

令和7年度の租税教室は、5月に6校、6月に1校の小学校において開催され、総勢427名の児童が参加しました。今年度は、テキストを変更し、従来のDVDを使用した内容から、児童に考えてもらうことを重視した参加型の内容に切り替えて実施しました。

4月2日の第1回部会では「テキストの変更は、5月から始まる授業には間に合わないのでは？」という不安な気持ちもあるなか、検討の結果、4月28日に「新テキストでの講師養成研修」（講師：下坂泰弘先生）を実施し、5月9日から始まる租税教室に漕ぎつけました。

延べ14名の講師の方々には、3月決算のご多忙中、研修への出席から備品の受け渡し、そして小学校での授業実施に至るまで、限られた準備時間にも関わらず、充実した内容での開催にご協力いただきました。加えて実施報告の際に、工夫された内容や改善点なども含め、今後のテキスト作りや、授業内容についての多くのヒントをお寄せいただくなど誠にありがとうございました。

税理士が行う租税教室として、どのような内容にしていきたいか？また、税理士という職業を児童に伝える絶好の機会となるよう、今後ますます充実させていきたいと考えています。

租税教室の講師は、部の枠を超えてご協力をいただいている活動ですので、ご経験のない方にもご参加いただけるよう、研修会の実施などにも取り組んで参ります。

### 【租税教室の風景】

DVDを使用せずに、45分間の授業中に児童の集中を切らさないよう、講師の方々はそれぞれ工夫されています。



平塚市立城島小学校  
阿部圭一先生・加藤香代子先生



伊勢原市立緑台小学校  
石上悦子先生・小野 恵先生

主なテーマ「税金の集め方」については、①稼ぎの多い人からのみ集める方法、②皆から同額を集める方法、③稼ぎに対して同率で集める方法、または④稼ぎにより率を変えて集める方法、など稼ぎの違う3人の市民を例に、実際の金額を示して、どの方法なら皆が納得できるか？について児童に考えてもらいます。当然正解は決まっていません、考え・実感してもらうことを重視しています。

当初は少しレベルが高すぎるのでは？本当にこの内容で児童に理解してもらえるのかな？など、半信半疑でしたが、実際にやってみると、理解してもらえた上に挙手や意見が出るなど反応も良く、充実した授業になりました。



秦野市立南が丘小学校  
小泉重治先生・林 孝一先生



平塚市立南原小学校  
石上悦子先生・小栗久美子先生

新しいテキストを用いた授業については、4月の研修において模擬授業を行い、講師間で授業の流れやテーマについて共有しました。その上で、1億円を使用する・使用しない、以前のテキストにあった税金クイズを使用する・使用しない、税金の集め方についてグループであらかじめ検討しておいてもらうなど、講師ごとにオリジナルの内容を取り入れてもOK、まずはやってみよう！ということでスタートしました。

講師としての心構えや、使用してはいけない言葉などの基本を押さえた上で、個性ある授業を展開できたのではないかと考えています。

今後さらに「難しいことでも易しく伝えられる租税教室」を開催できるように努めて参ります。



伊勢原市立伊勢原小学校  
今村泰之先生・高橋秀彦先生